

## 社会教育主事による学校等訪問

東部教育事務所 生涯学習係

東部教育事務所では、管内の公民館等社会教育施設の機能の充実と社会教育の振興・充実に向け、社会教育主事による公民館等訪問と、今年度より地域学校協働活動訪問を実施しています。今年度は、地域と学校の連携・協働に関する地域学校協働活動についての情報交換や、家庭教育支援に関わる「ワクワク子育てトークン親の学びプログラム」の周知啓発などを含めた視察をさせていただきました。「学校を核とした地域づくり」や「家庭教育支援」などについて情報交換・情報提供もさせていただきました。どの公民館も児童生徒向けの事業は多く実施されており、今後の地域と学校の連携・協働が期待されます。また、地域学校協働活動に関する訪問では、公民館が核となり様々な活動が実施されておりました。コロナ禍での事業であり、計画どおりの事業とはならない中で職員の皆様が、試行錯誤され事業を実施されている様子を視察させていただきました。それぞれの事業で、地域の実情やニーズ等を踏まえた特色ある事業が展開されていることがわかりました。次に、各公民館や地域学校協働活動の事業について御紹介いたします。

毛里田公民館	邑楽町中央公民館
低学年英語教室	邑っこフェス
	
フォニックスという音を中心とした英語教育の事業でした。子ども達は、楽しそうに取り組んでいた。映像も活用しながら、楽しい英語学習の時間でした。講師は、いろいろな公民館で講師を務めている方で、優しい言葉かけが印象的でした。	コロナ禍であるが、「子ども達の発表の場を作ってあげたい」との思いで、実現したフェスでした。ホールや各教室、外にはマルシェやキッチンカーと、本当にワクワクドキドキする事業となりました。子ども達が、企画・運営に関わり一生懸命取り組んでいた。延べ4000人以上の来場者がありました。

笠懸公民館	相生公民館
高齢者大学 第4講「落語」	子ども書初め教室
	
みどり市笠懸地域高齢者大学の連続講座の一つである「落語」でした。プロの咄家さんの活舌の良い話は、とても心地良く「さすがプロ」と感じさせる技でした。参加者からは、笑いもあふれプロに親しむ貴重な講座となっていました。	コロナ禍で人数を制限し、書初め教室を実施していました。参加者全員が、講師からしっかり指導を受けられるように、主事さんが番号のカードを配布し、番号順で講師が周り丁寧に指導していました。子どもたちは、真剣に取り組む姿が見られました。

中部公民館
わんぱく米づくり隊

地域の方を講師に迎え、稲刈り体験を子どもと、親で鎌を片手に一生懸命刈っていました。田植えから稲刈りそして、その米を家でいただくという年間を通した事業でした。参加した、子どもはもちろん親も泥だらけになり夢中で、稲刈りする姿が印象的でした。稲刈りを終え、達成感に満ちた参加者の笑顔でステキな写真となりました。

## 地域学校協働活動訪問

<p>きっずin三野谷 放課後子ども教室</p>	<p>公民館長が ふるさとを語る</p>
	
<p>館林市生涯学習課の社会教育主事が講師となり、紙コップを使い、「紙コップ積み上げ選手権」と題し、第七小学校の児童と放課後の時間を過ごしていました。宿題を終えた児童は、三野谷公民館の講堂に集まり、紙コップを天井まで積み上げる勢いで取り組んでいました。</p>	<p>邑楽町立中野小学校の4年生「総合的な学習の時間」の中で、邑楽町の歴史を中央公民館長の藤田館長が、町の歴史について紹介していた。児童や先生方は、身近な場所の歴史に驚き、館長さんの話にどんどん引き込まれていく様子が、印象的であった。数時間ある授業のはじめであったため、児童たちの邑楽町に対する関心は大いに高まっているように感じました。</p>
<p>「あくしゅ」明和町 放課後子ども教室</p>	<p>紙ひこうき選手権 (全公民館対抗)</p>
	
<p>ポッチャに取り組んでいた。低学年の児童たちであったが、町の社会教育委員の方々との競技経験もあり、とても上手にそして楽しく取り組んでいた。放課後子ども教室では、支援員さん方が、子どもたちのために、様々な体験活動を準備し放課後の居場所づくりに取り組んでいる。</p>	<p>館林市の11公民館が、協力して取り組んだ事業であった。2日間の事業で、まず1日目はオンラインで全館をつなぎ紙ひこうきが、どうしたら遠くに飛ぶかを学びました。2日目は、学びから作り出した紙ひこうきを体育館で飛ばし、距離を競う素晴らしい事業でした。地域の青少年育成推進員さん方が、子ども達のために大会を盛り上げており、地域の力を感しました。</p>